

2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 ピクセルカンパニーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2743 URL http://pixel-cz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山元 俊 TEL 03-6731-3410
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,324	105.8	11	△92.7	10	△92.7	7	△93.3
2019年12月期第1四半期	1,252	123.2	159	-	148	-	112	-

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 8百万円 (△92.2%) 2019年12月期第1四半期 112百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	0.30	0.30
2019年12月期第1四半期	5.43	5.26

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期第1四半期 -1百万円 2019年12月期第1四半期 -1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	2,170	1,614	74.2	63.22
2019年12月期	2,476	1,617	64.7	62.88

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,611百万円 2019年12月期 1,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に外出や移動が制限される中、企業の経済活動が停滞する状況が続いています。現時点では、収束時期の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2020年12月期の業績予想を未定とさせていただきます。業績予想については今後、合理的に算定可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	25,486,600株	2019年12月期	25,486,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	一株	2019年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	25,486,600株	2019年12月期1Q	20,797,711株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想に適切な利用に関する、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料のP. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善を背景に設備投資は緩やかに増加し、雇用情勢は着実な改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移しておりましたが、国内外において新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況で推移いたしました。また、海外経済においても、米中貿易摩擦や英国のEU離脱に伴う欧州経済の不確実性により景気動向には留意が必要な状況です。

このような状況のもと、当社グループは、組織の垣根を超えた横断化戦略により各事業セグメントの収益性の安定化及びグループ全体の継続的なコスト見直しによる費用削減を推進して参りました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績については、ディベロップメント事業においては、期ずれ案件の引渡しが完了したことや、不動産物件の売買により前年同期に比べて売上高が増加いたしました。一方で、システムイノベーション事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、取引先の営業調整が発生し、また、エンターテインメント事業においては、主要取引候補地であるアジア圏において新型コロナウイルス感染症拡大によりカジノ施設の休業等により、営業活動に遅れが生じており、前年同期に比べて売上高が減少いたしました。

なお、グループ全体に係る継続的な費用削減に取り組んだこと等により、営業利益を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,324百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は11百万円（前年同期比92.7%減）、経常利益は10百万円（前年同期比92.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7百万円（前年同期比93.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(ディベロップメント事業)

ディベロップメント事業は、太陽光発電施設を法人及び個人投資家向けに企画・販売・取次することに加え、リゾート用地の開発や不動産物件の売買、仲介の事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にて期ずれした太陽光発電施設案件の引き渡しが完了したことに加え、不動産物件の売買が行われたことにより前年同期に比べ売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は1,142百万円（前年同期比43.6%増）、営業利益は129百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

(システムイノベーション事業)

システムイノベーション事業は、金融機関向けシステム開発・IT業務の技術支援サービス及びブロックチェーン技術等の最先端技術を用いたシステムの開発・受託事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、損保系のシステム開発の継続した受注案件があるものの、金融機関向けのプロジェクトにおいては前年度会計期間より期ずれが生じている仕掛案件が解消せず、前年同期に比べ売上高、営業利益ともに減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は148百万円（前年同期比44.3%減）、営業利益は2百万円（前年同期比75.5%減）となりました。

(エンターテインメント事業)

エンターテインメント事業は、カジノゲーミングマシンの企画・開発・製造・販売、ゲーミングアプリケーションシステムの企画・開発・販売及びe-sports関連のコンサルティングを行っております。当第1四半期連結累計期間においては、ゲーミングアプリケーションシステムの開発、引渡が行われたものの、新型コロナウイルス感染症拡大により、カジノ施設が所在する地域への渡航が制限されていることなど販売活動に影響が出ております。また、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況により、カジノ施設運営会社の財務状況によっては、今後、カジノ施設内への設備投資に対し、消極的になる可能性があります。

以上の結果、当事業における売上高は27百万円（前年同期比84.7%減）、営業損失は46百万円（前年同期は営業利益114百万円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、売上高、営業利益共に減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は6百万円（前年同期比43.4%減）、営業損失は0百万円（前年同期は営業利益2百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前渡金及び前払費用等が増加したものの、手元資金及び売掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ306百万円減少し、2,170百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、買掛金及び短期借入金等が増加したものの、前受金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ303百万円減少し、555百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、利益剰余金が増加したものの、新株予約権が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、1,614百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に外出や移動が制限される中、企業の経済活動が停滞する状況が続いています。現時点では、収束次期の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2020年12月期の業績予想を未定とさせていただきます。業績予想については今後、合理的に算定可能となった時点で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	630,687	54,235
売掛金	301,080	230,632
製品	74,325	74,325
仕掛品	620,240	622,063
前渡金	689,312	954,534
その他	77,774	156,451
貸倒引当金	△42,132	△41,818
流動資産合計	2,351,289	2,050,424
固定資産		
有形固定資産	32,398	32,210
無形固定資産		
のれん	19,257	16,211
その他	6,993	6,585
無形固定資産合計	26,250	22,796
投資その他の資産		
投資有価証券	3,000	3,000
長期貸付金	468,809	409,009
長期未収入金	220,000	279,500
その他	51,083	49,734
貸倒引当金	△676,270	△676,270
投資その他の資産合計	66,622	64,974
固定資産合計	125,271	119,981
資産合計	2,476,561	2,170,406

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,799	107,184
短期借入金	10,000	90,800
1年内返済予定の長期借入金	18,000	18,000
未払金	124,983	107,662
未払法人税等	14,207	16,231
前受金	550,603	151,477
その他	59,008	55,399
流動負債合計	839,602	546,755
固定負債		
長期借入金	7,000	2,500
その他	12,125	6,336
固定負債合計	19,125	8,836
負債合計	858,727	555,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,777,832	2,777,832
資本剰余金	2,982,543	2,982,543
利益剰余金	△4,205,403	△4,197,792
株主資本合計	1,554,973	1,562,583
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	47,604	48,775
その他の包括利益累計額合計	47,604	48,775
新株予約権	15,256	3,456
純資産合計	1,617,833	1,614,814
負債純資産合計	2,476,561	2,170,406

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
売上高	1,252,426	1,324,895
売上原価	883,690	800,258
売上総利益	368,735	524,637
販売費及び一般管理費	209,146	513,058
営業利益	159,588	11,578
営業外収益		
受取利息	20	7
受取家賃	750	1,074
仮想通貨評価益	299	-
仮想通貨売却益	-	790
キャッシュレス還元額	-	681
その他	339	30
営業外収益合計	1,409	2,585
営業外費用		
支払利息	7,158	182
為替差損	2,250	1,104
新株発行費	3,383	1,000
貸倒損失	-	490
その他	3	500
営業外費用合計	12,796	3,277
経常利益	148,201	10,886
特別利益		
債務免除益	7,312	-
新株予約権戻入益	-	11,800
その他	1,068	-
特別利益合計	8,380	11,800
特別損失		
和解損失	7,078	-
特別損失合計	7,078	-
税金等調整前四半期純利益	149,503	22,686
法人税、住民税及び事業税	36,529	15,075
法人税等合計	36,529	15,075
四半期純利益	112,973	7,610
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,973	7,610

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
四半期純利益	112,973	7,610
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△624	1,170
その他の包括利益合計	△624	1,170
四半期包括利益	112,348	8,780
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,348	8,780

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年1月1日 至2019年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ディベロッ プメント事 業	システムイ ノベーション 事業	エンターテ インメント 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	795,606	267,245	178,240	1,241,092	11,334	1,252,426	—	1,252,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	795,606	267,245	178,240	1,241,092	11,334	1,252,426	—	1,252,426
セグメント利益	89,528	11,530	114,146	215,204	2,171	217,376	△57,787	159,588

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△57,787千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2020年1月1日 至2020年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ディベロ ップメント事 業	システムイ ノベーション 事業	エンターテ インメント 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,142,248	148,958	27,272	1,318,479	6,416	1,324,895	-	1,324,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,142,248	148,958	27,272	1,318,479	6,416	1,324,895	-	1,324,895
セグメント利益	129,721	2,830	△46,904	85,647	△801	84,846	△73,267	11,578

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△73,267千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。